



優勝：バディーSC 千葉 S

準優勝：千葉 SC ブルー

第3位：千葉 SC ホワイト、GINGA FC

優勝したバディーSC 千葉 S の皆さん、  
おめでとうございます。

## バディーSC 千葉 S vs 千葉 SC ブルー

日 時：2024年6月16日(日) 13:00 Kick off

会 場：磯辺スポーツセンター

試合時間：40分（20分ハーフ）

バディーSC 千葉 S	VS	千葉 SC ブルー
4	—	1
5	—	0
<b>9</b>	<b>—</b>	<b>1</b>

### 【戦評】

13:00、千葉 SC ブルー（以下千葉 SC）ボールで試合が開始される。

開始早々、千葉 SC 88 番の岩尾選手がファーストシュートを放ちゴールを目指す。

しかし前半1分にはバディーSC 千葉 S（以下バディーS）の10番鈴木選手がドリブルでペナルティーエリアに侵入、ニア上にシュートし先制点。その後もバディーS11番皆川選手が左右に展開し、チャンスを作る。

前半4分にはCKのこぼれ球をバディーS10番鈴木選手が拾い、キックフェイントからシュートを放つがゴールポストに弾かれる。

このままバディーに流れが傾くかと思われた6分、千葉 SC 3番関川選手が11番増水選手にスルーパス。抜け出してシュートを打つが惜しくも右に外れる。

ここで飲水タイムが入るが、飲水タイム後の12分、またもバディーS10番鈴木選手がペナルティーエリア外で相手を1人交わしミドルシュート。軌道は千葉 SC の GK 棚橋選手の頭上を越えゴールイン。リードを2点差とした。

早い段階で1点が欲しい千葉 SC は前線からの連動したプレッシャーで相手のミスを誘

## 2024年度 美浜区4年生大会 決勝結果・戦評

うが、なかなかボールを奪えず苦しい展開に。17分にはバディーSがCKから鈴木選手が今度は頭で合わせ3点目が入る。

しかし千葉SCも諦めずにベンチ・選手が声を掛けバディーゴールを目指す。

失点1分後の18分、千葉SC3番関川選手のミドルシュートが相手に当たり得たCK。繰り返しのCKの後、3度目のCKでは高い軌道でバディーSのニアポストの選手を超え、中で待っていた19番別所選手が合わせゴール。2点差とする。

ここで千葉SCは勢いに乗るかと思われたが、前半終了間際にバディーS5番村松選手からの落としを11番皆川選手が豪快に振り抜きシュート。ボールはゴール上に突き刺さり再び点差を3点に戻し、ここで前半終了。

後半開始後、点差を縮めたい千葉SCだったが、バディーSは村松選手に代わって入った7番浅野選手がペナルティーエリアにドリブルで侵入し中にクロス。それを9番野田選手がダイレクトで合わせ5-1。さらにはバディーS皆川選手のロングシュートで6-1とし、バディーSが主導権を握りながら後半を進めていく。

猛攻を続けるバディーSは4分、浅野選手がファーストタッチで相手と入れ替わり中央を突破。強烈なシュートを放つが、千葉SC GK 棚橋選手に弾かれる。そのこぼれ球を後ろから走り込んでいた3番矢吹選手が押し込みゴールイン。7-1とする。

後半5分には千葉SCは得点を決めた19番別所選手を下げ、23番小川凛人選手を投入し反撃を試みる。

千葉SCは縦に早く展開しゴールを狙う。千葉SC11番増水選手が右サイドをドリブルで突破するもバディーは2人掛かりでカバーし対応。

後半14分にはバディー鈴木選手が自陣ペナルティーエリアからスピードに乗ったドリブルで1人2人と置き去りにし、そのままGKと1対1に。これを冷静に右に流し込み8-1と点差を広げる。

千葉SCは3番関川選手と38番中後選手を中心に前線にボールを配給するが、シュートまであと一步及ばない。

一方のバディーSは落ち着いてグラウンドを広く使いボールを動かす。さらに、再びピッチに入ったバディーS村松選手がカットインで相手をかわしシュート。千葉SC GK 棚橋選手も反応するが僅かに届かずゴール。9点目を挙げた。

後半終了間際には千葉SCのFK。キッカーはチャンスを作り続けた3番関川選手。強烈なシュートも壁にぶつかり得点ならず。その後も千葉SC11番増水選手が相手の裏に抜け出すもバディーGK鈴木選手のカバーで2点目をあげることができずタイムアップとなり、9-1でバディーSC千葉S勝利という結果で試合終了となった。

結果こそ9-1という大差だったが、バディーSは高い技術力と攻撃力で終始千葉SCゴールを脅かし続け、一方千葉SCは縦に素早いサッカーでチャンスを出した。両チームの持ち味が発揮された決勝戦に相応しいゲームとなった。